

Take Free

Caregiver Job

「介護」という仕事

優しい人になっていた。

ここは「ありがとう」があふれる場所だから。





「介護」という仕事 _ Caregiver Job



「介護」の仕事とは？

たくさんの「ありがとう」に出会える仕事です。

「ありがとう」は、あなたをより優しい人へと導いてくれます。

そんな介護という仕事についてご紹介します。



CONTENTS

P03 - 04 介護の仕事について
 P05 - 09 介護職員インタビュー
 P10 利用者インタビュー

P11 - 12 介護職員に聞く仕事の経験談
 P13 - 14 介護施設のある1日

May your future be bright.

1 サービスの種類と活躍の場

介護職の活躍する現場は大きく入所型・通所型・訪問型に分かれます。働くスタイルも施設によってそれぞれ。「日勤」「遅番」「夜勤」などといった交代勤務をするところもあります。

入所型、通所型、訪問型の大きく3つに分けて紹介します。



入所型

介護を必要とするお年寄りが施設に入所、入居して介護サービスを受けます。

例

特別養護老人ホーム
介護老人保健施設
グループホーム
有料老人ホーム など



通所型

介護を必要とし、家で暮らすお年寄りが日中に通い過ごす場所。ご飯を食べたり、お風呂に入ったり、リハビリやレクリエーションなどをします。

例

デイサービスセンター



訪問型

介護を必要とするお年寄りが自宅で受ける介護サービス。訪問介護や訪問入浴などがあります。訪問介護員（ホームヘルパー）が、利用者の自宅に派遣される形なので、勤務先と実際に働く場所は異なります。

例

介護サービスを利用する
お年寄りの自宅

業務内容

- ・食事、入浴、排泄などの介助
- ・健康管理やリハビリ
- ・季節の行事やイベント企画 etc.

資格

無資格から就業可能

- ・食事、入浴、排泄などの介助
- ・健康管理やリハビリ
- ・自宅からの送り迎え etc.

無資格から就業可能

- ・通院時の車の乗り降りの介助
- ・食事、入浴、排泄などの介助
- ・掃除や洗たくの介助 etc.

介護職員初任者研修
介護福祉士 など

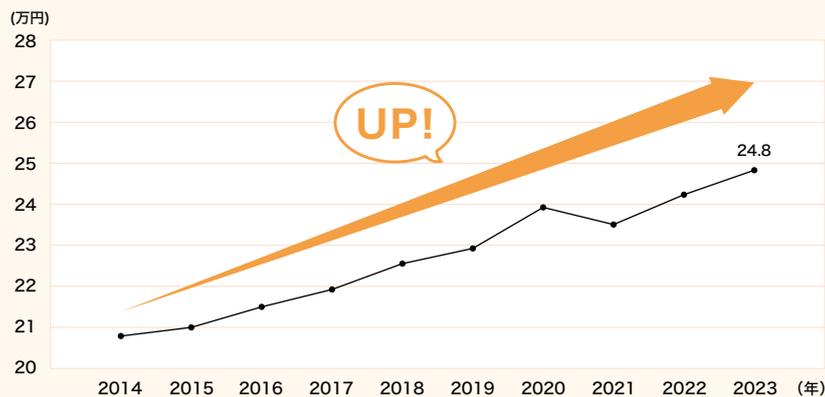
2 介護職員の給与

介護職員の給与は年々増えています。

2023年における介護職の全国平均月収は、2014年に比べ4万円以上も増加し、約1.2倍となっています。

また、国は、介護現場で働く方々の待遇や賃金を向上させるための処遇改善に力を入れており、こうした取組が介護職員の給与の向上に寄与しています。

給与の推移



※¹「所定内給与額」とは※²「きまって支給する現金給与額」のうち超過労働給与額を差し引いた額

※²「きまって支給する現金給与額」とは、本給のほか、家族手当、超過労働手当を含むが賞与は含まない（所得税、社会保険料控除前）

出典：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

※グラフの数値は所定内給与額の全国平均です

3 資格とキャリアパス

介護の現場では無資格からでも働くことができますが、資格を取得すれば知識・技術を身につけていることを証明でき、就職や待遇面でも有利になります。介護に関わる代表的な資格を紹介します。

介護職員初任者研修

介護の仕事をするうえで基本となる入門的な知識や技能を修得するための研修です。
研修修了後は訪問介護員（ホームヘルパー）として働くことができます。
研修時間 ▶ ◎ 130時間

実務者研修

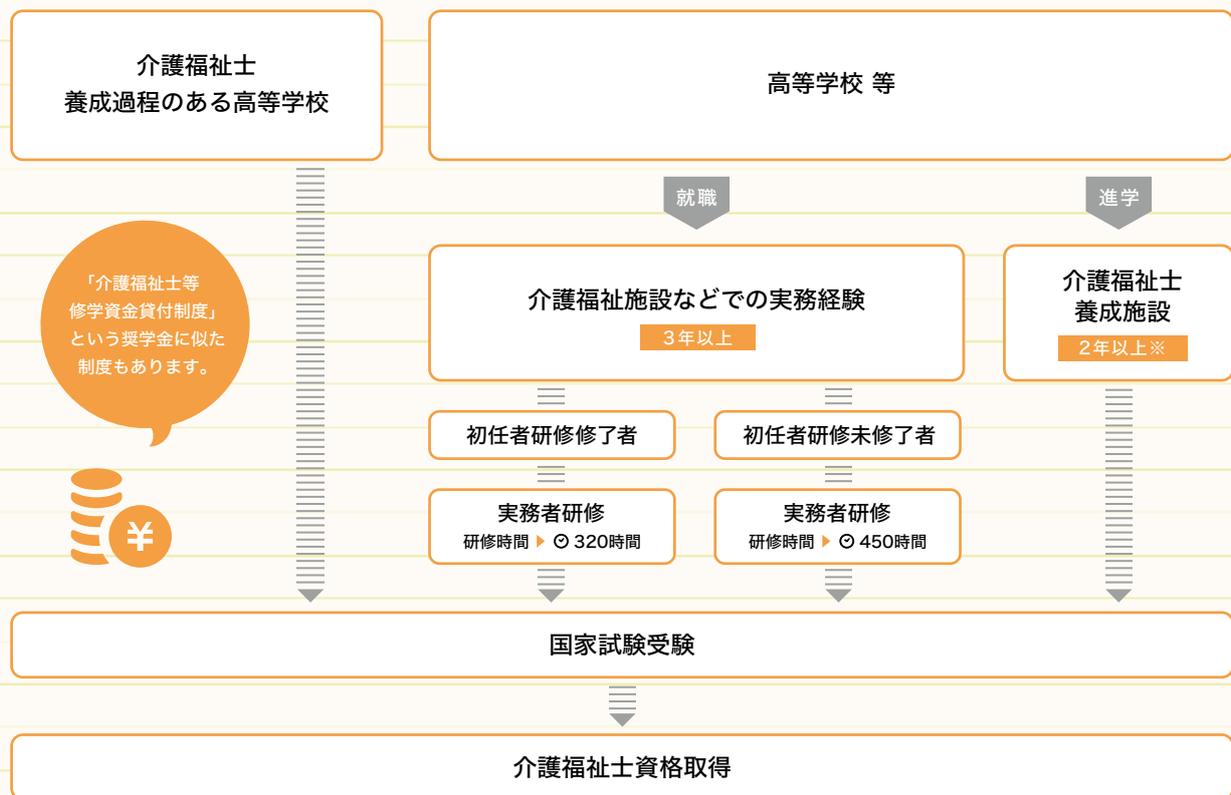
介護職としてのキャリアアップと質の高い介護を目指す人のための研修です。
働きながら介護福祉士を目指すためにはこの研修を受講することが必須となります。
研修時間 ▶ ◎ 450時間 / ◎ 320時間（初任者研修修了者）

介護福祉士

知識と技術を兼ね備えた介護のプロフェッショナルです。
介護系の資格の中で唯一の国家資格であり、介護職員の中核となります。
この資格を取得することで資格手当が加算される職場も数多くあります。
資格取得に向けた流れは主に以下のとおりです。



● 介護福祉士資格取得の流れ



※福祉系大学を卒業している場合、または社会福祉士や保育士の資格を有している場合は1年以上。
※経過措置として、介護福祉士養成施設を令和8年度末（2027年3月末）までに卒業すると、国家試験に合格しなくても、卒業から5年間の期限付きの登録ができ、さらに卒業後5年間続けて介護等の業務に従事することで、5年経過後も介護福祉士の登録を継続することができます。

介護支援専門員

「ケアマネジャー」や「ケアマネ」と呼ばれ、介護が必要な方からの相談に応じ、適切な介護サービスが利用できるようなケアプランを作成する専門職です。
介護福祉士等として5年以上の実務経験があると、受験資格が得られます。

INTERVIEW

介護職員インタビュー

私と介護の仕事

5名の介護職員の方、一人ひとりの介護職員になるきっかけ、利用者との思い出、介護現場の変化、仕事に対する思い、目指す自分など、様々なエピソードをお聞きました。



INTERVIEW

介護職員

01

介護福祉士

山下 采紀

Yamashita Saki

Keyword

- # 専門卒
- # きっかけは母
- # 介護のイメージ
- # 介護って楽しい
- # 周りを助ける
- # 研修
- # スキル・自信・安心
- # 憧れの先輩
- # 抱負

Theme つれもて安心、つれもて幸せ /

きっかけは母

母も介護の仕事をしています。

子供の頃から、一家団らの時間になると、母はいつもその日、職場で起こった楽しい話をしてくれ、「介護って楽しい仕事なんだ」と介護の仕事に自然と興味を持つようになりました。

高校2年生になった頃、母が祖父の介護をする姿を見て、介護の技術や知識があれば自分の身の周りの人たちを助けることができるの思いから、「将来、介護の仕事をする」と決意し、介護の専門学校へ進んだ後、この世界に入りました。



研修期間で得た自信とスキル

私の働く施設では、本配属の前に2ヶ月間、入所・通所・訪問など様々な事業所で研修を行います。

この期間に様々な経験を積むことで、自分に対する自信やスキルが身につき、安心して働くことができます。また、利用者さんの安全や安心にも繋がり、とても意味のある期間だったと感じています。

憧れの先輩

私には憧れの先輩がいます。利用者さんへの声掛け、距離感、タイミング、言葉の優しさの全てが絶妙で、利用者さんはもちろん職員からの信頼もとても厚いです。私もいつか先輩のような職員になれるよう、入職時と変わらず、いつまでも前向きな姿勢で仕事に取り組んでいきたいです。

Dear reader - 読者の方へ

介護の仕事は体力・精神的にしんどいイメージを持たれる方もいらっしゃると思いますが、それ以上にやり甲斐と魅力があるお仕事です！



Theme 家族のような存在 /

INTERVIEW

介護職員

02

介護福祉士

阪中 薫須美 Sakanaka Kasumi

Keyword

#高卒 #業界未経験 #勉強 #職場環境の変化 #ありがとう

#やり甲斐 #利用者との絆 #結婚 #出産 #福利厚生 #資格・キャリア

未経験からのスタート

私は高校卒業後すぐに入職し、介護の仕事は全くの未経験でした。

入職後間もない時期は、職場ではもちろん、少しでも早く力をつけるため帰宅後も勉強を行うなど、とても大変な毎日でしたが、それと同時にすごく成長できた時間だったと思います。

この仕事をしていると、「ありがとう」「あんたでよかった」と声をかけていただく機会も多く、その声がいつも私に元気を与えてくれます。

日々利用者さんとの絆を大切に、家族のような身近な存在であることを心がけています。

介護現場の変化とサポート

入職当時（2009年）と比較し、様々なシステムが向上し、職場環境も格段に進化しています。

利用者さんの居住スペースで何かあった際は、居室の天井に備え付けられたセンサーが利用者さんの行動を解析し、職員のスマートフォンに映像とともに通知が入ります。

職員に対する法人のサポートも入職当時と比べ、手厚くなりました。

私の場合は、結婚・出産を経験。出産後の現場復帰には不安もありましたが、私が働く施設には託児所が併設され、子供を近くに預けることができる他、子育てのしやすい日勤形態にしてもらうなど、働き方に対する配慮もされています。

スキルの向上とキャリアアップ

仕事と育児を両立しながらキャリアアップを目指すのもこの仕事の魅力の1つです。

現在はケアプランの作成と介護サービスを一体的に提供できるよう、介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格取得を目指しています。

これからも、スキルの向上を怠らず利用者さんにより良い介護・介助ができるよう成長し続けたいです。

Dear reader - 読者の方へ

福祉や介護に少しでも興味があれば、一度一緒に働きましょう！
仕事をしながら、勉強ができ、資格取得も目指せます！





INTERVIEW

03

介護職員

介護福祉士

秦野 恭兵 Hatano Kyohei

Keyword

専門卒 # 高校時代の進路 # 資格・キャリア # ありがとう
やり甲斐 # 介護とは? # 優しさ

Theme 信頼される介護士になるために /

人に関わる＝介護福祉

高校3年生の夏、野球部を引退。将来は、「人の役に立つ仕事」に就きたいと考えるようになり、自然と「介護の仕事」が頭に浮かびました。

それから、介護の知識や技術を学べる学校などを調べるようになり、「介護福祉士」の資格取得を目指し、専門学校への進学を決めました。

専門学校では介護記録の作成や利用者さんへの介助手順など様々な内容を学習しました。

当時は、初めての経験ばかりでうまくいかないことも多く、本当にこの仕事をして良いのか悩んだ時期でもありました。

しかし、あの時期を乗り越えられたからこそ、入職後もスムーズに職場や仕事に順応することができたと感じています。



利用者家族からの「ありがとう」

介護の仕事は医療よりも近い立ち位置で利用者さんの生活を支えるため、利用者さんやそのご家族との距離感も近く、こういった関係は他の仕事では経験できないと思っています。

ある利用者さんがお亡くなりになり、「兄ちゃんがいてくれたから、あの人は良い最期を迎えられた」とご家族の方からお言葉をいただいたことがありました。

その瞬間は、自分自身この仕事のやりがいについて再認識し、私たちの仕事の価値や意義を改めて感じた瞬間でもありました。

『相手を思いやる心』が『優しさ』に

利用者さんに接する際は「こういうことをしたら喜んでくれるかな?」「この方法よりもあの方法のほうが利用者さんの不快感は少ないかな?」など常に頭の中で考えています。

『相手を思いやる心』を持つことは自然と『優しさ』へ繋がります。

相手の事を思ってこそ『介護』だと思います。

「秦野くんやから安心・相談できる」と言ってもらえる存在で有り続けたいです。

Dear reader - 読者の方へ

高校3年生の夏に、初めて進路を考えました。その時に、介護の仕事に出会い、今も続けています。やりたいことが今なかったとしても自然に見つかります。『誰かに言われるのではなく、自分で見つけること』が『やりたい事』です!



INTERVIEW

介護職員

04

介護職

山下 明日菜

Yamashita Asuna

Keyword

#大卒 #インターンシップ #業界未経験 #東京→和歌山Uターン
#本気のレクリエーション #成長する自分

Theme 何事にも挑戦し続ける

1番やり甲斐を感じる仕事だった

東京都内の大学(文学部)に進学し、大学2回生までは旅行や観光関係の仕事に就きたいと思っていました。

介護の仕事との出会いは3回生の夏から参加したインターンシップでした。

旅行会社やメーカー、人材派遣など様々な企業へ行きましたがその中で一番やり甲斐を感じたのが介護の仕事でした。

利用者さんのお話や作品作りなどの作業をしていく中で信頼関係が育まれ、感謝の言葉をたくさん頂いたことが何より嬉しくこの仕事に就く大きな決め手になりました。



合言葉は『全力』

私は、利用者さんと常に「全力」で向き合うことを心がけています。

レクリエーションなどを行う際も、私たちが全力で取り組むと、利用者さんも私たちの気持ちを受け取って、みんな全力で楽しんでくれます。

私たちの「全力」の気持ちは利用者さんとの信頼関係にも繋がります。

成長した自分に出会うために

大変な部分は少なくないですが、とてもやり甲斐があります。

利用者さんから話かけていただくだけでも嬉しいですし、笑顔や感謝の声も本当に嬉しいです。

いつも利用者さんや職場の人たちからエネルギーを頂いています。

介護の仕事に限らず、どんな仕事でも言えることですが、社会人になると自分の行動に責任が伴います。

利用者さんやそのご家族との信頼関係を大事に、これからも日々、挑戦する気持ちを持ちながら、成長し続けられるよう頑張っていきたいです。

Dear reader - 読者の方へ

介護の仕事は、とてもやり甲斐があり、自分の自信にも繋がる仕事だと思います。大変だというイメージもありますが、その裏には嬉しい・楽しいことがたくさんあります。この冊子を読んで少しでも介護の仕事に興味を持ってくれたら嬉しいです。



INTERVIEW

介護職員

05

総合職

田中 良磨 Tanaka Ryoma

Keyword

#大卒 #インターンシップ #人と接する仕事とは? #ありがとうの種
#社会福祉士 #介護のエキスパート

Theme 介護職員としての誇りを持つ

人と接する仕事とは？

大学は社会福祉学科に進学。

進学当初から将来は「人と接する仕事」に就きたいと思っていました。

大学3年生時には将来の就職に向け、色んな業界を経験しておきたいと、医療機器メーカーのインターンシップへ参加しました。

人とのつながりや関係性が重要な営業職を体験しましたが、体験期間中は営業目標の達成に向け、「この商品を購入いただくにはどうしたらいいだろう？」と考える毎日で、私が思う「人と接する」とは全く違い、これを機に改めて介護や福祉に対する思いが強くなり、この業界への就職を決意しました。



『ありがとう』の種

この仕事をはじめてから「感謝」の気持ちを周りに伝えることを意識しています。

些細な事でも「ありがとう」と伝えることで、利用者さんやそのご家族、職場の方からも「ありがとう」の言葉を頂けます。

いろんな方からの感謝の気持ちを受け取ると、仕事に対するモチベーションも上がります。

入職当初はどこか業務的だった仕事も、現在は日々、向上心を持ちながら、仕事に取り組めるようになりました。

この仕事は利用者さんの表情で、自分のサポートや行動が良かったのか悪かったのかがすぐにわかります。

利用者さんが喜び、楽しんでいる様子を見ると改めてこの仕事のやり甲斐を感じられます。

介護のエキスパートになる

今は現場経験、研修、先輩の指導を通じて介護の技術・知識を学んでいます。

将来は大学で学んだことを活かし、社会福祉士資格の取得を目指しています。

介護の技術だけでなく福祉の契約・法律・介護保険制度など専門知識を増やし、より利用者さんやそのご家族の役に立てるよう頑張っていきたいです。

Dear reader - 読者の方へ

介護施設によっては SNS アカウントがあり、現場に行かなくても SNS で介護現場の日常を気軽に見ることができます！
思っている介護のイメージが変わるかもしれません！



INTERVIEW

利用者

06

北村 ヒサ子 Kitamura Hisako

施設での経験が育む「生きがいと元気」

デイサービスに来るとみなさん親切でいつもいろんな方とお話できて本当に楽しいです。

初めてのパン作りや、自分の趣味である手芸を楽しんだりと色々な経験もできて、いつも次に来る日を楽しみにしています。

在宅時は動く時間が少なくなりましたが、施設に通うようになり動く時間が増え、日常生活でも動きが軽くなったように感じます。

いつも笑顔で家まで迎えに来てくれる職員さんには感謝しています。

Relatives' voice - 親族の声

母は毎週水・土曜日に施設を利用させて頂いております。施設を利用してから気持ちも身体も今まで以上に元気になる、楽しく暮らしています。

「嬉しさ」は日常の何気ない会話から

私は忘れっぽいところがあるのですが、私が何か忘れ事をしても職員さんがいつも優しく親切に教えてくれます。私が(忘れてたら)「また、頼んどかよー」と言うと、職員さんも「わかったよ。任しといて」と言って気持ちよく応えてくれて、その言葉がとても嬉しくありがたいです。

今の楽しみは3つあります。一つは体を動かすこと、もう一つは『永富さんの話を聞けて嬉しいわ〜』と言ってくれる利用者・職員さんがいて会話をする事、最後の一つは昔、合唱団に入っていたこともあり、カラオケをすることです。

Relatives' voice - 親族の声

施設の利用にとっても満足しています。家にいる時よりも明るく過ごしてもらうことが出来ています。利用している施設ではSNSに写真を掲載してくれる為、母の楽しんでいる姿が見られることが嬉しいです。もっといっぱい写真を撮って欲しいです。



INTERVIEW

利用者

07

永富 玲子 Nagatomi Reiko

介護職員に聞く仕事の経験談

現場の経験、待遇や休日の過ごし方など、入社1年目～10年超えの職員が一同に集まり、介護のお仕事についてお話をしました。



MEMBER >



藤田 直輝 さん / 14年目
職種：介護主任



山本 和生さん / 9年目
職種：生活相談員



蔦尾 花帆さん / 7年目
職種：ケアマネジャー



坂本 京香 さん / 3年目
職種：介護職



田中 良磨さん / 1年目
職種：総合職



山下 明日菜 さん / 1年目
職種：介護職



SMILE — 笑顔になるとき

笑顔の絶えない職場

- ・月に何度か行事があり、普段の生活の中でみられない利用者さんの表情をみると、こちらも笑顔になれます。〈山本〉
- ・レクリエーションなどで利用者さんと冗談を言いながらお話をしていると、自然と私たちが笑顔と元気をいただきます。〈田中〉



HAPPY — 嬉しいとき

頼られ、時に励まされる

- ・仕事で悩んだり行き詰まった時に、利用者さんが相談に乗ってくれて、「あなたなら大丈夫よ。応援してる」と背中を押してくれました。〈蔦尾〉
- ・異動の際に利用者さんが泣きながら「行かんといてよ、あんたいてなかったら困る」と言って頂けたことが一番嬉しかったです。〈坂本〉



IMPRESSION — 感動したとき

利用者家族からの言葉

- ・「ここを選んでよかった」や「最後をここで迎えられてよかった」と言葉を頂いたときは感動しました。〈藤田〉
- ・初めて看取りを経験させて頂いた時に、利用者さんのご家族から「お母さんキレイにしてもらって、優しい顔になってるわ」と言われ涙がでました。〈坂本〉



HARDSHIP — 大変なこと あの手この手を考える

- ・その人に合った関わり方や支援の方法を見出していくことが難しく時には大変ですが、その方との信頼関係が築けるようになり、自分に心を開いてくれた時にはこの仕事をやっていてよかったなと感じます。〈鳶尾〉



SKILL — 能力を上げる 成長のために

- ・研修に参加できる機会も多く、職場の支援を受けながらスキルアップを目指すことができます。〈鳶尾〉
- ・在宅サービス・施設相談員・施設の現場を経験することによって多くの知識や技術を身につけることが出来ました。〈藤田〉
- ・現場で先輩職員に直接教わるだけでなく、今は動画で介護の手順やポイントを学ぶことができます。〈田中〉



HOLIDAY — 休日について 平日休みって、結構イイかも

- ・施設の性質上、平日に休みが多いです。外出するときもあまり混むことがなく、人混みが苦手な自分には合っています。〈藤田・山下〉
- ・映画や買い物に出かけたり、職場の先輩や後輩とご飯に行き、仕事やプライベートの話をするなど、充実した日を過ごしています。〈山本〉



RELIEF — 安心すること 生涯使える資格 / 安定した職場環境・待遇

- ・介護福祉士や介護に関する資格を持っていれば、結婚や子育てなどで一度仕事を辞めても、いつでも復帰することができ、日本全国どの地域や職場でも同じように働けて困らないという安心感があります。〈鳶尾〉
- ・夏と冬の年に2回賞与があり、それを楽しみに仕事をしています。〈山本〉
- ・手当てが充実していたり、自分の頑張りに応じて昇給に幅がある事。賞与も評価制度なのでモチベーション高く働けます。〈藤田〉

— SCHEDULE —

介護施設のある1日

介護の仕事はチームワークが大切。

介護の仕事を円滑に進めるためには、チームワークが不可欠。
職員が連携し、協力し合いながら業務を行います。

利用者さんが快適に過ごせるよう
日々努力しています！



The routine of the day

STEP

1

6:00 / 朝のあいさつ

一日のはじまりは、利用者さんとのコミュニケーションから始まります。「おはようございます。」「夜はよく眠れましたか？」などの声掛けを行い、体調の確認をします。



STEP

2

7:00 / 身だしなみ

朝起きた後は、顔を洗ったり、髪の毛を整えたり、利用者さんが気持ち良く一日をスタートできるように支援します。



STEP

3

8:00 / 朝食介助

利用者さん一人ひとりにあった食事を提供します。ご自分で食事を摂ることが難しい方には、食事介助を行います。



STEP

4

9:00 / 申し送り

夜勤と日勤の職員で業務の引き継ぎを行います。夜勤の職員が日勤の職員に、夜中の利用者さんの状態を報告し、やり残していることがあれば引き継ぎを行います。



STEP

5

9:30 / ベッドメイキング

利用者さんが居室で快適に休んでいただけるように、定期的にシーツや布団、枕カバーの交換を行います。



STEP

6

12:00 / 昼食介助

食事は利用者さんにとって大きな楽しみの1つです。おいしく食べていただくことはもちろん、楽しく食べていただけるように声掛けや雰囲気作りを行います。



STEP

7

14:00 / 入浴

利用者さんの安全に配慮し、気持ちよく入浴していただくために介助を行います。一人ひとりの身体の状態にあった方法で、入浴していただきます。



STEP

8

15:00 / レクリエーション

利用者さんに気分転換をしていただき、充実した時間を過ごしていただけるように、季節に応じたイベントやお誕生日会などを開催し、生活の中で少しでも楽しみを見つけていただけるように支援します。



STEP

9

17:00 / 業務引き継ぎ・申し送り

日勤と夜勤の職員で業務の引き継ぎを行います。日勤の職員が夜勤の職員に、日中の利用者さんの状態を報告し、やり残していることがあれば引き継ぎを行います。



About one day - 1日の流れについて

朝の「おはよう」の挨拶から、就寝に到るまで、介護の仕事は食事の提供・排泄介助・入浴介助などたくさんの業務があります。利用者さんに快適な生活を送っていただくために、職員は協力しながら支援するとてもやりがいのあるお仕事です。

和歌山県社会福祉協議会では、福祉人材の養成・確保を目的として、介護福祉士(社会福祉士)養成施設に在学し、介護福祉士(社会福祉士)資格取得を目指す学生やこれから県内の施設・事業所へ入職(再就職含む)される方等に資金を貸付けています。

免除対象業務への従事等、一定の要件を満たすことで返還が免除になります。

制度に関するお問い合わせ先

和歌山県社会福祉協議会
地域福祉部
☎ 073-435-5223



No	項目	内容	貸付対象者	貸付限度額	返還免除要件
1	介護福祉士等 修学資金貸付事業	介護福祉士(社会福祉士)養成施設に 在学する方に対し 修学に要する費用を貸付	養成施設に在学する方で、卒業後、 介護福祉士(社会福祉士)として県内の 介護施設・事業所で業務に従事する意思がある方	168万円 (2年間)	資格を取得し、 県内の介護施設・事業所で引き続き 5年間対象業務に従事
2	福祉系高校 修学資金貸付事業	福祉系高校に在学する方に対し 修学に要する費用を貸付	福祉系高校に在学する方で、卒業後、 介護福祉士として県内の介護施設・事業所で 業務に従事する意思がある方	44万円 (3年間)	資格を取得し、 県内の介護施設・事業所で引き続き 3年間対象業務に従事
3	介護(障害福祉) 分野就職支援金貸付事業	他業種等(無職含む)から 介護(障害福祉)分野に就職する際に 要する費用を貸付	他業種等から県内の介護(障害福祉)施設・ 事業所に介護職員として就職する方 ※介護職員初任者研修等の資格を保有していること	20万円	県内の介護施設・事業所で引き続き 2年間対象業務に従事
4	離職した介護人材の 再就職準備金貸付事業	離職中の介護職員(潜在介護職員)が 介護分野に再び就職する際に 要する費用を貸付	県内の介護施設・事業所に介護職員として 再就職する方 ※介護職員初任者研修等の資格を保有して 1年以上介護業務の経験を有すること	40万円	県内の介護施設・事業所で引き続き 2年間対象業務に従事
5	介護福祉士実務者研修 受講資金貸付事業	介護福祉士実務者研修を 受講する方に対し 研修に要する費用を貸付	県内の介護施設・事業所で業務に 従事している方で、実務者研修修了後、 介護福祉士として業務に従事する 意思がある方	20万円	資格を取得し、 県内の介護施設・事業所で引き続き 2年間対象業務に従事

専門学校(介護福祉士養成施設)

和歌山 YMCA
国際福祉専門学校

〒640-8323 和歌山県和歌山市太田1丁目12-13
☎ 073-473-3338 ☒ <https://www.wakayamaymca.ac.jp>



和歌山社会福祉専門学校

広川キャンパス
〒643-0051 和歌山県有田郡広川町下津木1105
☎ 0737-67-2270
橋本キャンパス
〒648-0093 和歌山県橋本市慶賀野192-2
☎ 0736-38-3601 ☒ <http://wakayama-syakaifukushi.ac.jp>



取材協力 > 社会福祉法人 寿敬会 / 社会福祉法人 紀三福社会

お問い合わせ先

社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会
和歌山県福祉人材センター「ハートワーク」

〒640-8545 和歌山市手平2丁目1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛7階
☎ 073-435-5211 ☒ <https://wakayamakenshakyo.or.jp/~jinzai>
☎ 073-435-5209 ☒ jinzai@wakayamakenshakyo.or.jp
☎ <https://www.facebook.com/wakayamafukushi>



社会福祉法人 田辺市社会福祉協議会
紀南福祉人材バンク

〒646-0028 田辺市高雄1丁目23番1号 田辺市民総合センター2階
☎ 0739-26-4918 ☒ http://tanabeshi-syakyjo.jp/chiiki_jinzai
☎ 0739-26-2928

